

科目名：骨学・筋学	講義回数：20/24
講義テーマ：骨学実習（6） 四肢骨 … 下肢骨	担当者：教員全員 解剖学（マクロ）
医学教育モデル・コア・カリキュラム平成28年度改訂版（p.41） 学修目標 D-4-1) 構造と機能 ④ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	
求められる事前学習 LMSの課題20	所要時間の目安・（20分）
求められる事後学習 特になし	所要時間の目安・（ ）

要点

骨学実習⑥ 下肢骨のスケッチ

- ・寛骨
- ・大腿骨

各骨について描く面を、実習開始時に一つ指定する。

※スケッチ開始前にすべきこと：

各骨を隣の骨と実際に連結させてみたか？

観察項目チェックリストを用いて復習をしたか？

※禁止事項：①骨標本の**撮影**、②骨標本の**破損**、③他学生（上級生含む）の**スケッチのコピー**

提出スケッチの評価基準

- 1 プロポーション（全体の形のバランス）が正確であること
- 2 細部の形質が正確に描かれていること
- 3 名称が正しく記載されていること（日本語と英語を併記）
- 4 観察所見を出来るだけ書き込むこと（図譜や教科書にある標準的な形態との相違点など）
- 5 実物を描いていないことが明白な場合、評価はD（⇒再提出）
- 6 提出〆切を厳守すること（未提出者は受験停止となるので注意）
- 7 スケッチした骨に関する問題がしばしば試験に出題されるので、要復習
- 8 提出スケッチは成績評価の対象、占める割合も大きいので注意

AA 100点

A 90点

B 70点

C 50点

D 0点

※Cが合格ではないことに注意

※明らかな不正行為は受験停止になる

予習スケッチ ---- LMS で指定した図を以下の余白に描くこと。